

緊急署名「自主」避難者に、正当で幅広い「損害賠償」を！
によせられた一言メッセージ

一律一括の「見舞金」など許されません。避難費用実費を賠償すべきです。これ以上、避難者の窮状を放置しないでください！東電の責任を徹底的に問うてください。

私は子ども3人とともに、福島県川俣町ら和歌山県に自主避難しました。避難区域の同町山木屋地区からわずか5キロしか離れていません。原発事故により子供たちの健康を危機に晒され生活の基盤を奪われ経済的負担も精神的苦痛も多大です。避難にかかった実費も慰謝料も避難区域と同じく正当な額が支払われることを求めます。

七月に福島県福島市渡利から自主避難しました。

今でも高濃度に汚染されているにも関わらず避難勧奨地点にも認められず、家の中でも0.9もの線量がある中で自主避難しかなかったです。

正当な補償をしてください。

ずっと住み慣れていた故郷から子どもを守る為だけに自主避難したのですから！！

主人も私も仕事を辞め、子どもにとっては全てだった場所からの避難で失ったものは計りしれないほどです。未来ある子どもを本気で守ってください！！

放射能による被害は、紛れもなくある地域であるにも関わらず、避難を指示してもらえず、不安の中で自主避難しなければならなかった方々に、きちんとした対応をしていただきたいです！

二重生活で大変だ。毎週、家族に会う為のガソリン代も馬鹿にならない。引越費用・ガソリン代・二重生活にかかる全てを保障してほしい。

私が生まれて育った福島県。

私に関わってくれた人・出会うことはなかったけど福島を豊かにしてくれた人たちみんなに感謝しています。

みんなが「当たり前」の生活を送れるように、安全な場所で少なくとも経済的な不安を取り除いて生きて行けるように、どうかどうか、補償してください。”

郡山市に生まれ育ち今年避難のため移住 自宅の線量は未だに10マイクロシーベルトこれは自主避難じゃなく強制である。安定した会社を退職せざるを得なかった引越しかかった費用、精神的苦痛、全て賠償してほしい

3. 1 1 以前の生活をさせてください できないなら 避難費用を全額（精神的な分も）保障を。

自主避難者は自らと、子供たちの命を守るために止むを得ず土地を離れた方々です。二重生活や、職を失い困窮している人たちにふさわしい賠償があつて然るべきだ。

父の兄弟五名、母の兄弟七名とその子、孫の家族らが皆福島県におります。残る決断をした訳ではなく、移った後の生活が全く見えず、残らざるを得ない状態です。一本でも、辿り得る道が必要です。

自主避難を考えておりますが、母子家庭で金銭的にままならず、小学6年の子どももいることもあって来年3月の年度末にやっと避難できそうです。ママ友もそのころに考えてる人もけっこういます。金銭の準備、タイミング等を考えるとせめて年度末までは避難費用を認めてほしいです。経済的に余裕のない人は引っ越し代を捻出するのに一年はかかると思います。最低でも30から50万はかかりますから。

自主避難してほんとうに良かったです！

でもお金がありません。

寒いけれど、灯油代がなくて着替える時だけしかファンヒーターつけられません。寒いです。

水道費ガス代、二重に払うのは本当に痛い。

ここは雪国です。備えに色々とお金がかかっています。

どうか想像してください。

子供が外で手をついたり転んだりしたら大変と、舞い上がった放射性物質を吸い込んだら大変!!とピリピリする毎日。

低線量だし、まだ何も起きていないと本当に思っていますか？

呼吸器系おかしくなっています。福島にいます、です。

出ると大丈夫になるんです。

そんなところに子供を置いておけないですよ！

おうちを建てたばかりでした。

そこが住めない場所になってしまいました。

ローンの支払いは大きい。

本当に本当にきつい生活です。

家族も一緒に暮らせないし。

どうか助けていただきたいです！

毎週末、子供達を連れて県外に避難してます。家財道具一式、光熱費、高速代、ガソリン代、更にもう価値がない住宅のローン払いたくありません。全て賠償して欲しいです。

避難したくても、経済的理由で避難出来ない人ががいます。

助けられる命を救って下さい。

どうか、よろしく願いいたします。

福島県の姿は、近い将来の日本の姿ですよ。

避難したくてする人はいません。

避難せざるを得ないのです。

東京電力と日本政府に原子力発電を推進して事故を起こした責任をきちんととらせ、損害賠償額を値切

るようなことをさせないように、被害者の立場に立った判断をお願いします。

対象者へのしっかりとした対応と心からの謝罪を正当な損害賠償と補償を通じて実現してください。でないと、「国」は崩壊し破綻します。

避難しなかった人たちへの賠償は当然ですが、それを避難した人たちへの損害賠償を減らす理由にしないでください。

福島原発事故によって生じたすべての損害は、当事者としてまず東電によって補償されるべきです。それを実行させるのは原発を推進してきた政府です。

原子力災害は多様な形態で損害を与えています。被ばくへの不安だけではなく、避難によっても健康被害は生じています。原子力村の委員たちは放射能被ばくとの因果関係だけしか関心がないようですが、総体的に損害をとらえて賠償してください。

東京ですら、3/15以降、以前はなかったさまざまな体調不良に見舞われている人がたくさんいます。避難地域に指定されなかったからといって、その場所が安全だなどという保証はどこにもありません。自主的な判断で避難をしている人も、避難指示区域の人と同じく、国の原子力政策と、安全対策を怠ってきた東電の怠慢の犠牲者です。避難のための費用の全額賠償を求めます。

政府の甘い考えで、これ以上国民に負担を強いないで下さい。

人の心があるのなら、真摯に国民に向き合ってください。

私たちの本当の苦しみに寄り添った審査会であって欲しいと願っています。

原子力損害賠償紛争審査会の委員の皆さん、事務局の皆さん、今回の原発事故がもたらした国民に対する被害についてもっと深刻に受け止めてください。もっともっと真剣に、被害者の人達のことを考えてください。ご自身の身に置き換えて考えてみてください。仕事として片付ける前に、理論で片付ける前に、人間として考えてください。

資料に慰謝料に係る裁判例がありましたが、今回の原発事故がどれだけ深刻なものか考えている人が作成したものとは思えないものです。

自主避難者も残留者も同額という話は「要請されている」との発言がありましたが、どこからの要請なのか、とても違和感を感じました。事務が煩雑になるといったことを基準にするのではなく、この原発事故が、この先何十年も先まで及ぼすだろう影響を考え、何故自主避難したのかよく考えてください。雀の涙程度の「見舞金」では話になりません。避難した人たちの苦しみ・悲しみを一体何だと思っているのですか？自己申告制で全額を補償して下さるようお願いします。

一律一括の金額ではなく、避難費用の実費がカバーできる賠償とすること。東京電力に対しては審査会の議論がどうあれ、自主避難にかかった実費を完全に補償することを求めます。当たり前のことを当たり前に完全に実施を！

娘夫婦、二人の孫も原発爆発危惧からの自主避難者です。以来、広島で避難生活を9ヶ月以上。長引くに従い、鰻上り。福島へ幼児を戻せないで、娘の夫は会社を辞職して西で再就職。損害はすさまじい。家の売却損も数百万円。

宮城県に避難している母子です。こちらは借上げ住宅手当などもなく、全て自分のお金で生活を成り立

たせなければならず、とても苦しい生活を送っています。自主避難してる人達に、この先何年かかるかわからない避難生活を送れるよう、最低限の生活保障をして頂きたいです。借上げ住宅手当、月々の生活費をいくらかでも補償してもらえたら、助かります。

私は和歌山弁護士会に所属する一弁護士です。貴審査会で審議されている自主避難者等に対する賠償の指針案につき、深い懸念を抱かざるを得ず、緊急署名に賛同することと致しました。法律家としての意見を一言だけ述べさせていただくとすれば、「原子力損害の範囲の判定の指針」を定めるという審査会に与えられた任務は、決して明白な「損害」の減額や切り捨てであるはずはないということに尽きます。はたして、貴審査会によって正義は守られるのでしょうか。委員各位の良心に恥じない決断をお願いします。

福島県福島市から七月に自主避難しました。

家の中でも0.9あり、敷地内も警戒区域と同等の線量です。

自主避難するしかなかった状況で、家族が離れないために一家で移住しましたが、仕事を辞め、知り合いもない土地に来るしかなかった者へ正当な賠償を補償してください。

避難したからといっても、これから先何十年も被ばくしたことへの不安も抱えたままです。

原発事故がなかったら避難せずにすんだのですから！！！！

福島市からの自主避難者です。

賠償委員会、中継等で拝見させていただいていますが、本当に避難者の実情が全くわかっていません。幅広く、誠意ある対応ができるよう判断をお願いします。

福島市から二歳の息子と神奈川県に自主避難しています。

我が家はマイホーム建設中に被災し、今は主人だけ福島におりますので、二重生活に加え住宅ローンと、お金がかかることばかりです。

正当な賠償を求めます。

福島市民です。

線量が下がらない地域には、賠償するべきです。

二重生活、仕事も避難のためやめざるを得ない状況。

即刻最低二年賠償要求します。

郡山から東京へ母子で自主避難中です。

避難して時間がたてばたつほど、先の見えない不安が頭の中で大きくなり、精神的ストレスはますますばかりでなくなることはないでしょう・・・

とに角、一刻も早く避難させるべきです。

除染では、放射性物質を移動したに過ぎません。東電は責任を持って避難、移住住民にかかる費用の一切を負うべきです。このような、非人道的な東電の対応は文明国で絶対にあってはならないことです。何度でも言いたい、東電役員他関係者の資産を投げ打ってでも、放射能汚染被害者全ての人に補償をす

べきです。

自主避難者に対して避難にかかった実費も賠償して下さい。

原子力損害賠償紛争審査会の皆さん、福島に滞在し福島の実情を肌で感じて下さい。東京からでは分からないことがたくさんあります。

福島県相馬市の出身ですが、南相馬市在住の姉夫婦は自主的避難者です。原因・結果のすべては東京電力の責任であり、政府をふくむ原子力村の共同体的推進派の有史以来の亡国的大罪といえます。全国の前原が順次に事故を生じれば日本国の壊滅であり、政府や電力会社が責任をとれはなりません。この自明の事実を無視した「原発安全神話」から目ざめて、直ちに原発廃止にあわせて福島原発事故のすべての責任を先ずは果たすべきです。

住み慣れた自宅を離れなければならない心労だけでも計り知れないのに、その上経済的な負担まで。自主避難にかかった現在までの実費を全額賠償してください。当たり前なことだと思います。避難しなければならない状況を作ったのは誰でしょうか？

自主避難者を、安全なのに勝手に避難していると解釈がされているように思われます。チェルノブイリ事故と比べて放射能汚染による避難区域の決定が緩い中で、自主避難者の判断は正当と思う人は多いのではないのでしょうか。費用や多くの諸問題で止む得ずできない方がおられ、その方達を含めた避難援助が求められている状況だと考えます。そのような万全の援助をした上で、避難しないとの選択をされた方への援助も求められていると考えます。自主避難者の負担金を出さないような損害賠償では国民の命を守る国の責任を果たしているとは言えません。福島の子供、妊婦、人々、国民の命を最優先にお金（税金）を割り振りするのが政府の務めと考えます。国民の命を守る政府に、国民は大きな力を出す事を念頭に、国の再生の為に福島県民の復興の為により良い損害賠償を取り仕切っていただくよう、切に要望致します。

命の方向を向いて下さい。

知人が伊達市に住んでいますが、庭の線量が8マイクロシーベルト/hもあるそうです。室内でも0.4マイクロシーベルト/hあるとか。半年前に避難地域になりかかって安心していたら、そうならなかった、子どもさんもいるので、県外にもアパートを借りて2重の支払いがあるそうです。話をきくと、自宅で除染をいくらしても線量が下がる見込みがないし、自主避難にお金が出ない、こんな理不尽なことってないと思います。

原発を推進してきたときの熱心さ以上の熱意を注いで、被害にあっている方たちへ賠償してほしいです。原子力損害賠償紛争審査会は、被害者の気持ちを最大限考慮した判断をして下さい。

福島原発事故後の恐怖、避難先での不自由など、自主避難された方々の心身の苦痛は想像を超えています。自主避難された方に、正当で幅広い「損害賠償」を求めます。

誰も好き好んで福島を離れたわけではありません。やむにやまれず避難せざるをえなかったのです。責

任を負うべき加害者を守るために賠償額を値切るなんて、あまりに理不尽で非情です。

一律一括の金額ではなく、最低限として避難費用の実費がカバーできる賠償とすることが必要だと思います。

また賠償期間は、放射能が1ミリシーベルト以下となるまでの期間とするか、または資産を全額買い取るべきだと思います。

正当な賠償を求めます！！

福島県郡山市から妊婦の嫁とともに、神奈川に転勤してきた者です！！

東電は事故を起こした責任について、言い逃れできると考えていますが、答えはNOです。

日本にとって、世界にとって至上最悪の環境汚染を起こした現実は変わりません。

絶対に許さないです！！東電が蓄えた内部留保、歴代取締役の資産を没収されるまで、戦います。

私も子供と一緒に九州に避難しました。東電にも補償してもらえないか電話しましたが、全く相手にされませんでした。避難費用実費を賠償していただきたいです。

中通りの場合、小さい子供のいる家庭は絶対に避難が必要です。20mSV/年で癌になるという報告が出ていますが、今の郡山市では約3年で20mSVに到達します。国民を保護するまともな政府なら、疎開権利を全ての子供のいる家庭に与えるべきです。

福島県から避難してきています。

自主避難民は、そもそもなぜ自主避難しなくてはならないのか。福島県、地元行政、医者、学校、すべてに裏切られた思いで、子どもの命を守るために逃げてきたのです。これから先もずっと放射能の影響を気にしながら生きていかねばならない、そのような状況を二度と起こさないようにするためにも、損害賠償をすべきだと思います。

地震による事故が起きても補償話という保険にしか入れないような原発を動かしておいた責任は、取らなくていいのですか？交通事故だって、払えないからというような理由で免除しますか？多くの人が危険だと知っていた原発です。危険運転のドライバーの味方をしているようなものです。人として子々孫々に至るまで悔いの残ることはしないでください。

私は、福島に残り働いています。妻、子供達（娘3歳、息子0歳）は原発問題が解決しないために福島から遠くは慣れた宮崎に避難しました。原子力損害賠償紛争審査会のなかで、避難した家族は生活費がかさんだけど、避難したがために精神的苦痛が和らいだという話をされました。そんなことはありません。家族は一緒に住めるから家族であって、離れたから精神的苦痛が和らぐはずがありません。こんな議論は第三者の意見でまったく当事者の気持ちが含まれません。なんとしてもこれを賠償の対象にしなければ日本という国は世界で最低の国に成り下がります。

福島県から沖縄県へ家族4名（私、妻、7歳、2歳）で避難しました。

原発事故に伴う放射性物質の拡散により、穏やかで幸せな未来を失いました。

せめて避難費用実費は賠償を認めて欲しいものです。